

県内上場企業の「資本コストや株価を意識した経営」に関連する動き

社名	市場区分	備考
(株)ちゅうぎんフィナンシャルグループ	プライム	2024年3月末でPBRは0.41倍で中長期的に1倍を目指す。ROEは23年度3.9%で中期経営計画最終の26年度に7%以上を目指す。ストラクチャードファイナンスなど運用資産の資産の積み上げによる資金利益の拡大、脱炭素やコンサルティングなど事業軸の拡大、DX投資などでROEを改善。自治体との連携による地域振興などで成長期待値や評価を高めPER向上を図る。資本政策では政策投資株式を圧縮。26年度に21年度末比で簿価ベース50%縮減を目指す。
(株)サンマルクホールディングス	プライム	PBRは2024年3月末で1.47倍。コロナ禍の2期を除き1倍超で推移。ROEは3.2%で22年度の1.4%より改善。新中期経営計画を策定。28年度に売上高800億円、営業利益65億円を目指し25年度までその体制整備。5年間の設備投資は170億円。このうち新規出店以外に改装50億円、システム関連18億円を充当。M&Aや機動的な株主還元で100億円以上を充てる。
萩原工業(株)	プライム	PBRは2024年4月で0.75%。25年10月期を最終年度とする中期計画でROEを現在の6.8%から8%以上に引き上げる。営業キャッシュフロー100億円に加え負債40億円を有効活用。海外生産、M&Aなど戦略投資40億円、笠岡工場新設25億円などのほか、株主還元で35億円を回す。25年10月期に配当額50円以上、配当性向40%以上、総還元性向70%が目標。
(株)ハローズ	プライム	PBRは既に1倍超え。WACC(加重平均資本コスト)や資本コストを意識し、中長期的なROE10%以上、営業収益年間5~10%の成長を目標とする。2024年2月期の営業収益の伸び率は12.3%、ROE13.7%
大黒天物産(株)	プライム	PBRは既に1倍超え。ROEを重要な指標の一つとして安定的に10%を目標とし、2024年5月期は11.3%。課題は流動比率で現在の34%弱から25年5月までに36%に引き上げる
タツモ(株)	プライム	ROEは2023年12月期で12.7%。24年12月期の設備投資額は8億1800万円。研究開発費は14億7600万円で前期比3.4倍。配当は23年12月期で1株当たり24円、配当性向14.9%。事業拡大に向けレーザー接合の新技术の開発を推進。30年にレーザー接合装置や周辺技術の売上高25億円を見込む。
E・Jホールディングス(株)	プライム	PBRは2024年5月で0.86倍。前期の0.77倍より改善。ROEは9.7%(前期10.6%)。2030年度を最終目標とした長期ビジョンでは売上高500億円(23年度372億円)、純利益40億円、ROE10%以上を目指す。環境・エネルギー関連の受注強化。25年5月期までの現中期計画中の投資額は40億円。DX化、新技术の研究開発、研修、M&Aなどに充てる。株主資本配当率3.0%を目安に配当。24年5月期は1株当たり55円で累進配当を継続。
(株)はるやまホールディングス	スタンダード	PBRは5月時点で0.41倍。昨年11月の0.36倍から好転。ROEは2024年3月期で1.7%。2期連続の増益と総資産の圧縮で好転した。有形固定資産は15年3月の218億円から23年3月期に125億円まで減少。今年3月に岡山市北区表町の本社の土地、建物を売却。25年3月期から3年間、店舗の改修繕、DXなど積極的な投資戦略にギアチェンジ。
(株)トマト銀行	スタンダード	PBRは2024年3月末で0.31倍。新中期経営計画で中長期的に1倍超を目指す。ROE(連結当期純利益ベース)は2.75%で中長期的に5%以上を目指す。当期純利益は23年度14億円を最終の26年度に19億円が目標。4月に業務変革推進室を設置し業務の抜本的な見直しを行い収益性を高める。24年3月期の1株当たり普通配当50円。配当性向(連結)42.1%。
オルパヘルスケアホールディングス	スタンダード	中期経営計画で2027年6月期に連結売上高を現在の1185億円から1350億円に増やす。ROEは24年6月期で13.8%。DXや人的資本への積極的な投資に向け、ROEを現状水準に保ちながら自己資本の充実を図る。生産性向上に向け倉庫建設など物流面の機能を強化。タイなど海外事業の育成、外部との提携など未来への投資にも力を入れる。
(株)天満屋ストア	スタンダード	配当は2023年2月期に1株当たり3円、24年2月期5円と順次増配。25年2月期は7円を予定。新ブランド、新テナントの導入をはじめ店舗改装など積極的な成長への投資で利益率の向上を図る。
岡山県貨物運送(株)	スタンダード	物流戦略から運送、保管、流通加工までトータルで企業の物流を担う3PLを拡大。一貫通貫による総合的なサービスを提供する力を強化、収益力を高める。サステナビリティへの取り組みを重要課題とし取り組む。EVTラックなどへ切り替えを進め2030年度にCO2排出量を19年度比20%削減を目指す
(株)ウエスコホールディングス	スタンダード	3年間の中期経営計画で最終の2026年7月期にROE5.0%(23年7月期4.2%)以上を目指す。将来的な目標は8.0%以上。投資額は技術、DXなどへ3年間で6億5000万円以上。政策保有株式や保有不動産の縮減で投資キャッシュフローを捻出。営業面では主力の総合建設コンサルタントで関東、九州へのエリア拡大で受注増を目指す。配当性向は40%を目安とする。
(株)大本組	スタンダード	最終2030年度の長期ビジョンでPBR1倍以上(23年度0.54倍)、ROE8.0%(23年度1.5%)以上を目指す。中期計画では最終26年度ROE4.0%が目標。株主還元では1株当たり下限65円、配当性向70.0%以上を目指す。3年間の成長分野、DX、人的資本などへの投資額は50億円。従来の財務健全性重視から資本効率向上重視へ転換。中期計画では自己資本比率70%台を維持するが、長期的には柔軟に有利子負債も活用。
(株)テイツー	スタンダード	業績回復から2022年2月期に復配。24年2月期の配当は1株当たり4円。配当性向は45.2%。総還元性向は92.2%。中長期目標では29年2月期に売上高500億円(24年2月期351億円)を目指す。事業領域の拡大に向け外部との積極的な業務提携を推進。
(株)アルファ	スタンダード	流通株式時価総額が上場維持基準を未達。ポップギャラリー製品のオンラインショップの機能強化などで業績は回復傾向。直近の2024年8月期第3四半期決算では営業利益、経常利益、当期純利益は黒字化。
(株)岡山製紙	スタンダード	PBRは2024年5月期末で0.53倍。ROEは10.2%。配当は1株当たり24円。新中期経営計画では最終年度の27年5月期に売上高117億円(24年5月期115億1100万円)を目指す。設備投資も順次増額。24年5月期の7億円から最終年度に15億円にする。
(株)KG情報	スタンダード	流通株式時価総額が2023年12月時点で14億8000万円となり上場維持基準(10億円)をクリア。21年12月期に黒字転換して以降、3期連続の増収増益を達成。配当も2期連続で増配し23年12月期で1株当たり34円。24年12月期は35円を予定
(株)ジェイ・イー・ティ	スタンダード	2024年からの中期経営計画で2027年までに売上高300億円(23年12月期249億円)、営業利益率15%(同10.4%)を目指す。24年12月期の設備投資額157億円(同4100万円)。研究開発費は7億1900万円で前期とほぼ同規模の計画。27年稼働を目指し新工場建設を計画。
倉敷紡績(株)	プライム	2022年度からの中期経営計画で最終24年度に売上高1600億円(21年度1322億円)、ROE7.0%を目指す。独自技術で主力の繊維事業を拡充。半導体など成長分野に経営資源を集中投下し化成品事業も強化。3年間の設備投資額は成長分野、DX、脱炭素など計182億円。研究開発費は機能素材、半導体製造関連、FA・ロボットなど計62億円。株主還元では総還元性向50%以上を目指す。
(株)クラレ	プライム	5年間の中期経営計画で最終2026年度にROE10%(21年度7%)を目指す。5年間の設備投資額は成長分野のプラント建設など3800億円。M&Aは高機能プラスチックなどを想定し資金1000億円で計画。研究開発費は1500億円。営業キャッシュフロー6000億円(5年累計)に負債など活用。株主還元では1株当たり40円以上、総還元性向35%以上を目指す。
東和ハイシステム(株)	スタンダード	2024年3月時点でPBR1.0倍。ROE6.95%。配当は23年9月期で1株当たり50円。24年9月期は88円に予想を上方修正。24年9月期は利益率の高いAI関連のシステムが伸び大幅な増益見通し

※一覧表はプライム市場、スタンダード市場が対象(登記のみ岡山の倉敷紡績(株)、(株)クラレを除く)

※備考は各社が開示している中期経営計画、決算短信、決算説明会資料、コーポレートガバナンス報告書などを元に作成